



第64回国民体育大会バスケットボール競技会



開催場所：新潟市鳥屋野総合体育館
 試合区分：成年女子 準々決勝
 開催期日：2009年10月4日(日)
 開始時間：15:15

GAME No. 1004E3

主審：山内 俊幸
 副審：竹村 和敏

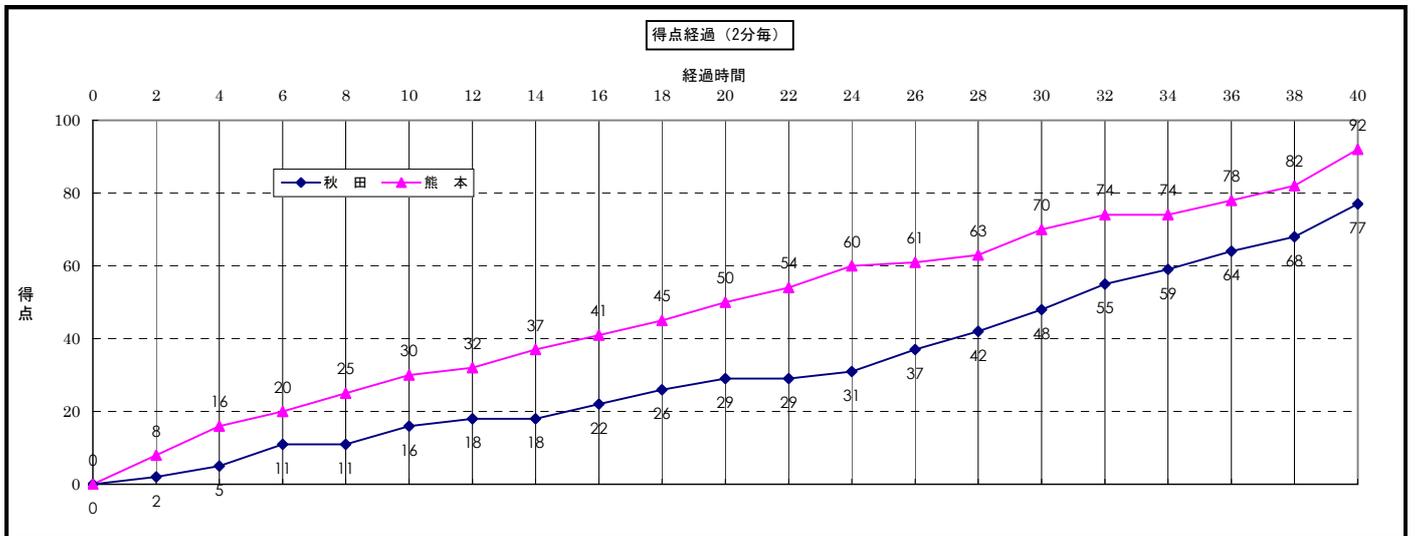
Team A	●	16 -1st- 30 13 -2nd- 20 19 -3rd- 20 29 -4th- 22	○	Team B
秋 田	77		92	熊 本

TEAM A		秋 田					
No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	今 美春	14	0	3	8	1
5	*	山手 陽子	8	0	4	0	4
6		福田 瞳	2	0	1	0	0
7		保坂 和音	2	0	1	0	1
8		渋川 愛子	5	1	0	2	0
9	*	川又 香澄	10	0	5	0	0
10	*	福司 恵美子	16	0	6	4	4
11		黒澤 早苗	—	—	—	—	—
12	*	遠藤 梓	10	2	2	0	4
13		糸井 貴子	3	1	0	0	2
14		佐藤 麻衣	7	0	3	1	4
15							
Coach		半田 祐毅					0
TOTAL			77	4	25	15	20

TEAM B		熊 本					
No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4		村上 好美	0	0	0	0	1
5	*	土橋 里美	18	0	7	4	5
6	*	川田 朋恵	8	1	1	3	2
7		瀬井 香織	—	—	—	—	—
8	*	坂田 奈葉実	26	1	8	7	3
9	*	守田 佳代	18	0	9	0	0
10	*	米村 知紗	9	1	3	0	2
11		松枝 三恵	—	—	—	—	—
12		中島 雪枝	0	0	0	0	0
13		濱本 愛梨	13	1	4	2	2
14		内田 貴子	—	—	—	—	—
15							
Coach		鹿毛 美智子					0
TOTAL			92	4	32	16	15

Timeout (経過時間)	1Q・2Q		3Q・4Q		OT1	OT2
	5:36	13:37	23:14	—		

Timeout (経過時間)	1Q・2Q		3Q・4Q		OT1	OT2
	—	—	24:58	—		



ゲームレポート

* 得点は、(Aチームの得点) - (Bチームの得点) で表記しています。

1Q、両チームともにマンツーマンディフェンスでスタート。熊本は#5土橋のドライブインで先制。すかさず秋田も#5山手のミドルシュートで応戦する。序盤はお互い点を取り合う展開となるが、徐々に熊本がリバウンドを支配し始める。開始2分、#6川田が相手のファールで得たフリースローを落ち着いて沈めると、試合は熊本のペースに。
 #5土橋がセットプレーから連続して得点に成功すると、#9守田がスティールから速攻を決めて4分には5-16とリードを広げる。秋田は#4今がゴール下のシュートなどで対抗するが単発に終わる。反対に熊本は次々とスティールから速攻を仕掛け、#6川田の3Pシュートや#8坂田のバスケットカウントなどで得点。16-30と熊本がリードする。

2Qになっても熊本の勢いはとまらない。オフェンスリバウンドを次々と奪取、攻撃回数を増やしながらいんサイドアウトサイドとバランスよく攻め、相手の追撃を許さない。開始4分に秋田はたまたらタイムアウト。悪い流れを変えようとするが、熊本は#13濱本がゴール下で競り合いながらシュートを決め、主導権を渡さない。秋田は#9川又の連続ミドルシュートや#10福司のカットインで追いつこうとするが熊本の堅いディフェンスに阻まれて波に乗ることができない。反対に熊本は#9川又のドライブイン、#8坂田のポストプレーなどで着実に加点。29-50と熊本がリードして前半が終了する。

3Q、秋田は苦しい状況を打開しようと3-2ゾーンディフェンスに変え、相手に傾いた流れを引き寄せようとする。しかし、逆にリバウンドが取れなくなり、熊本#8坂田にゴール下のシュートを決められる。このプレーがきっかけで熊本にオフェンスリバウンドを次々と奪われ、速攻を許してしまう。そこで秋田はディフェンスをオールコートマンツーマンに変更。ボールを奪いにくいのが、熊本は落ち着いて対応し、#12中島のスティールや#10米村の3Pシュートなどで確実に加点。秋田を突き放して48-70とする。

4Qになっても秋田は反撃の糸口をつかめない。ディフェンスをオールコートマンツーマンプレスに変えて相手のミス誘うが、熊本は巧みなボール運びを見せてつけ入る隙を与えない。秋田は#5山手や#10福司にボールを集め、ゴール下での1対1を狙うが、熊本に要所を押さえられ得点が伸びない。5分過ぎにはじりじりと点差を詰めて61-74とするが、反撃もここまで。終始リバウンドで秋田を圧倒した熊本が77-92と安定した試合運びで勝利、準決勝に駒を進めた。

記載責任者 後藤 暁 (所属) 新潟県バスケットボール協会